

## 第23回 保守管理検討会 議事録

1. 開催日時: 平成26年12月4日(木)13:30~16:00

2. 開催場所: 日本原子力発電(株) 2階 第一会議室

3. 参加者: (順不同, 敬称略)

□出席者: 浦野主査(中部電力), 西村(東京電力), 中廣(関西電力),  
大崎(北海道電力), 長谷川(日本原子力発電),  
堀水(原子力安全推進協会), 和地(三菱重工業), 天間(東北電力)  
(計 8 名)

□代理出席者: 室井(日立・GE・大野代理), 安達(東芝・依田代理),  
石合(電源開発・梅岡)  
(計 3 名)

□常時参加者: 伊藤(日本エヌ・ユー・エス)  
(計 1 名)

□欠席者: 池田(九州電力), 佐久間(中国電力), 根上(北陸電力),  
松村(四国電力), 金子(日本原子力研究開発機構)  
(計 5 名)

4. 配付資料

資料 23-1 第 22 回保守管理検討会 議事録(案)

資料 23-2 保守管理規程/指針(JEAC4209/JEAG4210)の次回改定について(案)

資料 23-3 JEAC4209 の目指す姿(仮称)の検討について(案)

参考資料その他1 JEAC¥4209 の改定について 議事メモ(案)

参考資料その他2 第 29 回運転・保守分科会資料の事前説明 議事メモ(案)

参考資料その他3 JEAC4209 改定検討幹事会(第 8 回) 議事メモ(案)

参考資料その他4 JEAC4209 改定検討幹事会(第 9 回) 議事メモ(案)

参考資料その他5 平成 26 年 11 月 25 日 第 29 回運転・保守分科会 コメント概要

5. 議事

(1) 会議定足数の確認

本検討会委員総数16名に対して代理を含めた本日の委員出席者数は11名で、規約上の決議の条件である『委員総数の3分の2以上の出席』を満たしていることが確認された。

(2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認

代理出席者3名の紹介があり主査により承認された。

(3) 第22回議事録(案)の確認

次回確認することとした。

(4) 配布資料の説明

資料に入る前にその背景説明として、参考資料その他1~5を紹介した。

以下のやり取りがあった。

・参考資料その他5 委員の質問で「あまり細かくすると事業者の選択肢がなくなる」とあるが、具体的に何か？

→プラントによって機器等の基数や設備数が異なり、あまり細かく考慮すると細分化が多くなるかもしくはプラントによって差異が大きくなるのではという懸念を意味している。

・参考資料その他2 もんじゅの運転期間は商業炉とは違うと聞いたがその場合だと運転保守に関する考え方がと違ってくるのではないか？

→その様相は聞いている。その通り考え方が相違するとともに今後の運転サイクルまたは廃炉に至るまでのあり方が相違するため、その形態に見合った方策が必要。

その後資料について審議した。

○資料23-2について

以下の質疑応答があった。

・例示が多く現状での約束事が多いのは如何か？

→各事項について具現的な言回しや抽象的な表現がありと、参考資料その他5において統一性がないとの指摘を受けて改定したもの。

・他方、ルールの修正か考え方の充実かを今回改定の指摘事項と言われており、その部分で現場が判断に苦しまぬような記述の作成が必要と考えるが、従いルールの修正を行うことではないのではないか？

→記載事項としてルールの修正に関しての観点が現状では反映されていない。

・MC-7の記載で「技術基準規則に規定されていない設備について保全対象範囲とする考え方を追加」は書きすぎではないか？

・今回の改定の基本的な方針は「考え方の充実」で良いと考えるが？

→その通り。

・上記の議論を受けて記載内容の変更を行う。

・中長期的な事項は盛り込むのか？

→基本的に、この中には盛り込まない。

・今後の進め方についてもう少し加筆したほうがよいのでは？

→現状はここで記載しているように具体的な事項は常に改定するものなのでこの記載に留めている。

・2頁 AP918でなくAP913である。

○資料23-3について

以下の質疑応答があった。

・スケジュールについて5年は長いのでは？

→長いと思うが今後検討する。

・RCMを導入との記載は如何か？

→修正する。

(5)その他

次回は1月16日とする。

以上